

# 貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】○千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 ○神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
 【協力】○千葉県環境研究センター ○東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所  
 ○モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成30年7月17~18日観測結果 (神奈川県データ反映版)

貧酸素水塊は内湾北部中央から川崎沖にかけて分布しています。水深20m程の海域には、溶存酸素量0.5mL/L以下の無酸素状態の水塊がみられています(図1)。一方、湾奥では貧酸素水塊は確認されていません。

縦断ラインの鉛直分布から、貧酸素水塊は15~30mの水深に分布し、海底から最大10mの厚みがあります(図2)。規模も7月上旬に比べ急拡大しています(図3)。

今後もこの水塊の動きに注意してください。

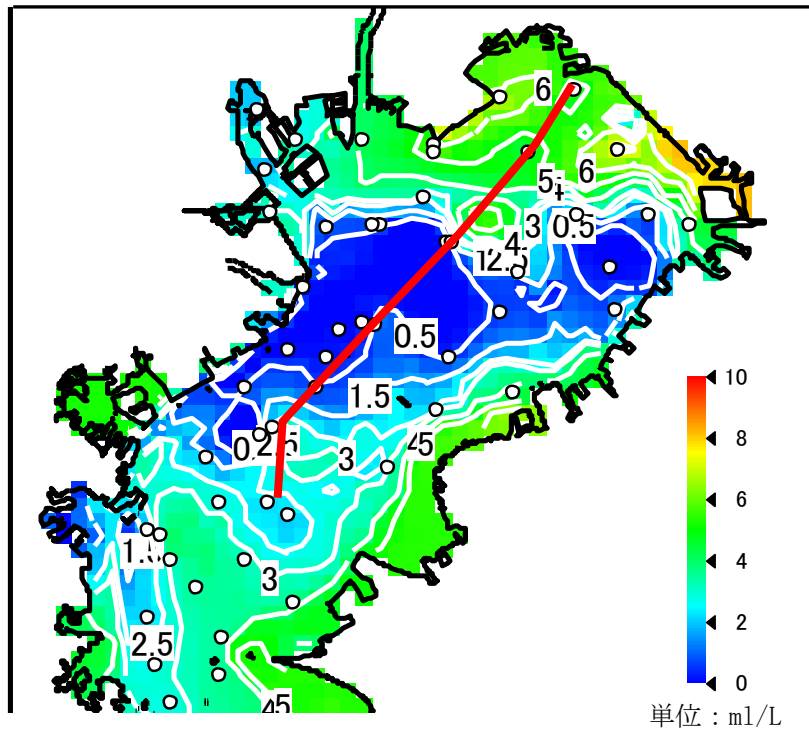


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

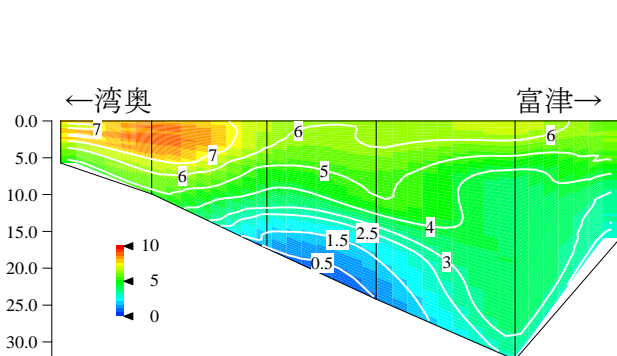


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

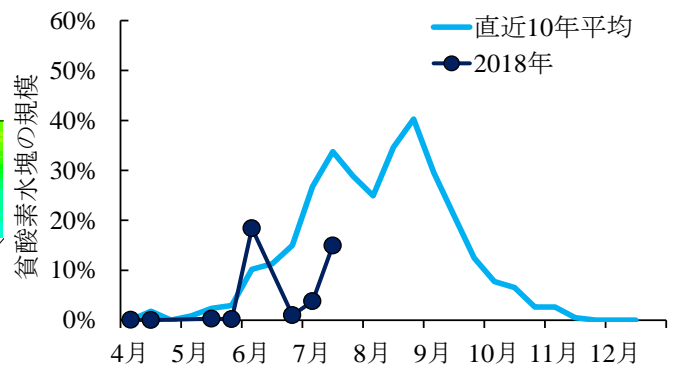


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)